



みなみの風

坂下南小学校
学校だより
NO. 28
R6. 6. 21
(文責:校長 菅家 篤)

ドリーム & チャレンジ! ~あいさつ・はっぴょう・なかまとじぶん~

聞くから聴くへ

よりよい学びが成立する条件

過日、本校のある先生に話のきき方のレベルについて伝えた内容です。子ども達に身に付けさせたい「話のきき方」は下記のレベル2『聴く』です。

- レベル1 聞< (耳に入る程度)
- レベル2 聴< (目を向け心を寄せて)
- レベル3 訊< (友達の発言に対し質問する)
- レベル4 利< (気を利かせて訊く)

授業中の5年生。「聴く」姿がいいですね! (6/19)



2年生の国語
話を聴く姿
(6/20)



6年生の算数
話を聴く姿
(6/20)

そのような折、保護者の方から「聴く」ということに関する内容の「10秒の愛キャンペーン」のエピソードをいただきました。私の考えと同じで、とても嬉しく拝見しました。

「10秒の愛キャンペーン」ハピネスなエピソード ありがとうございます!

エピソードではありませんが、心がけていることを分かち合っていたきたく書かせて頂きます。

話を「聞く」の聞<とありますが、私の子供に対する聞<は『聴く』です! 聴くの中には子供と向き合う共感のすべてが入っています。「目」で見て「耳」で聴いて「心」で感じるを意識しています。



なぜ静かにするのか

~全校生に話したこと~

学校では、「静かにしなさい」と、子ども達に促す場面があります。話す前、活動前、様々な場面で注目させる時に「静かに話を聞きましょう」と子ども達に伝えます。その時に、ただ「静かにしましょう」と伝えても子どもたちの心には何も残りません。「なぜ静かにするのか」が大切です。

私が子ども達に話したのは、「話を聞く」ということは、「人を大事にする」ということだよ、という趣意説明です。話している人、話そうとしている人に対して、自分の手を止め、話をやめて注意を注ぐこと、つまり「静かをつくる」とことは、その人を大事にすることなのだ、ということです。

例えば、授業中に友達が発表する際に、「今、誰を大事にしますか」と子ども達に声をかけます。

「今、仲間を大事にする時だよ」ということをメッセージとして子どもたちに伝えます。同時に、きちんと向き合って話を聞こうとしている子を褒めます。「今、〇〇さんはすぐに身体を向けて顔を見て聞こうとしているね。それはきちんと話す人を大事にしている態度だなあ。立派です」という具合です。「誰を大事にしますか」と促すと同時に、「大事にしているその姿」もきちんと褒め、教室の中に「人を大事にする」という大切な文化を浸透させていきたいと思っています。